

No. 1

**意見・質問・要望等**

イノシシの対策に抜本的なものはないか。田んぼ全体に電柵をしなくてはいけない状況であり、電柵の為に米を作っているようなものである。電柵をくぐってイノシシは入ってくる。イノシシ対策を考えてほしい。【西根地区】

**当日の回答**

イノシシは、角田市に現在3,000～4,000頭生息していると推測しています。今までのやり方だけでは減りません。狩猟の免許を持つ人を増やし駆除するしかないが、駆除した対価を高くすべきだと思います。丸森のイノシシ肉加工所を利用し角田ブランドにしたらと思っています。取ったイノシシを金にできるような方法を提案していきたいと思っています。平成17年283頭、18年260頭、19年100頭、20年353頭、21年553頭を駆除したが、後追いになっています。地域ぐるみで取り組まなければなりません。九州の武雄市では、イノシシ課があり、イノシシの肉を販売する営業課があります。職員が解体し、肉を売っています。真似であっても、そういう取り組みが必要だと思います。

**今後の取組み**

市のイノシシ対策として、農作物の被害防止対策とイノシシの個体数の削減を掲げて実施しています。農作物の被害防止としては、今年度から全ての農地を対象にして電気柵の設置の補助制度を行っています。現在で27件の申請があり、934千円の補助申請になっています。また、イノシシの個体数の削減では、年間を通じてのイノシシの捕獲を実施しています。11月末現在で、183頭を捕獲(平成21年度1年間の捕獲数166頭)しました。議会報告会での年度ごとのイノシシ捕獲数には、一般狩猟による捕獲数も含まれていることを申し添えます。【回答:農政課】

No. 2

**意見・質問・要望等**

事例として枝野地区でいろんな産物をやっている。地区は小さいけど。例えば枝野1区ではイチジク祭りといって、イチジクを産物にしようとして一生懸命取り組んでいる。先生ももちろん来てもらっている。そういうものを一つの物産に組み入れていこうか。今やって少しずつ元気がついてきている。そういう芽が、是非それを支えていけるように、各地区でもやっていると思う。そういう芽を育ててやるというのをお願いしたい。もう一つ枝野で菜の花プロジェクトを皆でやっている。8年目になるが、角田のふるさと小包として組み入れてもらった油、ありがたいと思っています。少しずついい製品が出てきたので宣伝して欲しい。【枝野地区】

**当日の回答**

今後も努力して参ります。

**今後の取組み**

角田ブランド推進で、商品開発の支援を実施しており、原料生産から加工まで支援を実施することも角田市としても支援して参ります。【回答:農政課】

## 意見・質問・要望等

①農業について、角田は基幹作物は稲作である。今年は春早くから低温や日照不足、夏に入ると猛暑や真夏日が続きて、品質の低下はもちろん収穫量もかなり減った。概算金は昨年と比べると3,600円/60kgとかなり安くなった。テレビ新聞等でもTPP撤廃になったらどうなるのか。そんな中、議会ではこの話題が出て何か話しになったのか。これからの角田を支える土台、農業をそのものをどう考え、どうしようとしているのか。農業の館が話題になってるが、今日、堆肥のサンプルを持ってきた。3・4年前に産業建設常任委員長・副委員長の二人が私の家に来て堆肥を見て頂いた。あの通り全然品質は向上しておりません。我々枝野地区は全員で売れる米ということで、安心・安全をモットーに極力、米余りの時代において一生懸命に一丸となってやっているが、堆肥は絶対条件です。かなり堆肥の品質が悪いので今日も農業の館にサンプルをもらいに行ってきた。農協の堆肥センターにも行って来た。農業の館の機械が今、故障中で動かない事を知っていますか。委員長さんが私たちで使う絶対量がここでは足りないということで今日、農協の堆肥センターに行って来たが、農業の館の機械は壊れやすいという話を聞いている。運転手が悪いのか、機械そのものが悪いのか、徹底究明してほしい。良い堆肥を使わないと美味しく安全な物が出来ない。下方修正、下方修正して650袋しか無い。現時点で、一袋で2反歩、130町歩分しかない。必要なのは150～160町歩分です。施設に7億円、8億円掛かったらしいが、その上、維持費に膨大な金が掛かっている。すぐにでもテコいれして良いものを作るように是非お願いしたい。【枝野地区】

②農業の館について、噂で聞いているが、赤字を出していること、堆肥原料の持ち込み料が少ないし、持ち込み料も値段が高いし、製品の販売価格も高いとのこと。4,500万円支出しているのであれば、原料もいつでも入ってくるようになれば、活性化するのではないか。【東根地区】

③農業の館はそもそも議会で通したことが悪い。豊室にあるのにつくったのはおかしい。【角田地区】

## 当日の回答

①今年の猛暑の水稻作付け状況について産業建設常任委員会では、10月1日に市当局とJAさんと3者で現地調査も含めて調査を行いました。米も大変でしたが、梨、野菜もひどかったし、あわせてイノシシの被害もひどかった。特に隈東がものすごい状態でした。枝野から東根、坂津田、方面まで視察をさせて頂きました。その結果、当時の資料で集荷率は角田地区の場合、約9割の時に、上位等級比率が28.7%という状況でした。枝野地区はもっと低くて27.25%でした。このままいくと一俵あたりの差額が3,600円位になりそうな状況で、JAさんとしては貸付ということが発表されましたが、やはり国に対して早急に意見書を上げるべきということで、今日臨時議会の時に議会案として6項目を上げさせて頂きました。その中身と同時に角田市の当局に対してはJAさんから返済が7月で終わりますから、そこからの経営が出来ない実態を踏まえて早く処置をなさいと12月定例議会まで何とか出してきなさいと、年を越えられるか越えられないかの状況にありますよということで今、産業建設常任委員会で行っています。あわせて来年度の作付けの上位種籾についても角田市で確保してやらないと生産者として良い物が出来ないということで、この件も議論しているところです。委員会機能として早めに動いて早めに対応しています。今出た内容のことをまだ結果はでてませんが常任委員会では動いております。農業の館については、いくら言っても役所は改善しない。産業建設常任委員会では提案しているのは、もう紐付きの運転をやめましょう、国に補助金返還まで考えましょう。そしてあそこで生かせる物を作りましょうと言っています。その為には仙北のJAさんで作っているように、産業廃棄物業者のように中間処理業者の免許を取得すること、そうすることで、海岸で出来た根昆布や、うにがらとかを入れていく、また落ち葉や土手で刈った草なども入れていく、そうすることで原料が増えていく。今は家畜糞尿と籾殻しか入れてない。その籾殻も粉碎しないで、ただ水分調整で入れているだけ。そのために冬になると500万円も600万円も灯油を焚いているのが今の

現状です。発酵する度合いがまったく悪い。毎年角田市は4,500万円も出している。それだったら国に返還しましょう。毎年4,000万円、2,000万円でも3,000万円でもいい、返還し、角田市として自由に使えた方がいい。7億円もかけた施設があつた通り故障ばかりして迷惑をかけている。製品が十分出来ないのに枝野地区の皆さんから年間400万円～450万円購入して頂いている。農業の館の売り払い収入は年間650万です。8割方枝野地区の皆さんにお世話になっているのに、枝野地区の皆さんからあんなものと言われる製品を作り続けるのは許せないと思っています。

・もう一つTPPの話で議会で話しになったのかについて、11月15日に各派交渉委員会がありまして、国の方に意見書を出すということで、米需給関係で、TPPの話がすでに前の日に出ました。このTPPも基幹産業は農業ですので、いち早く国県の方にも意見書として出すべきだという話になりました。11月18日付けでJAみやぎ仙南から組合長名で要請書がきております。ですから12月議会の出来るだけ早い時期に意見書を出して行きたいと思っております。宮城県の町村会の方では国民の合意が得られるまでもう少し時間を掛けて決定したらいいのではという意見書も出ております。宮城県内では13市の市議会があります。今日、仙台市の野田議長の方に早急に緊急に13市の議長が集まって角田の議長から提案しますから、早急に集まってもらうようにして下さいとお願いし、今の予定では12月3日にこの予定を組んでおります。出来る限り上部団体の方には強い意見、そして意思を通して行きたいと考えております。知らなかったということではなく、十分に検討しております。

②これだという答えはないが、現在、原料の持ち込みは計画の46%。原料の持込契約農家については19戸だが、定期的に持ち込むのは5～6戸です。原料が不足している分を草とか農業廃棄物等を入れて不足分を補えないか検討しているが、補助事業で行った施設なのでなかなか難しいのが現状です。また、農家も減ってきている状況なので、施設の在り方について補助金返還も含めて考えて行く必要があると思われまふ。

現在は持ち込み料はかかりません。また、1tのたい肥を作るのに約3万円かかり、8千円で販売しているが現状です。現在の稼働率約50%。これが100%となっても赤字に変わりがないが、農業振興という面からも考えなければなりません。

③農業の館は、宮城県農業公社発注、経営は角田市、農協は指定管理者、毎年4,500万円角田市で負担、このまま行けば毎年これが続くでしょう。中間処理施設の許可を取っているんなものを使ってやっていくしかないでしょう。農業の館は43.2%しか稼働していません。862トンしか原料が集まらない、4,500万円補助を受けて2,300万円しか使っていない状況です。

## 今後の取組み

農業の館は、環境保全型農業の展開を目指し、地域循環型農業のシンボリックな施設として位置付けています。良質な堆肥を供給して、良質な農産物生産を図るものです。平成16年度～平成18年度に建設し、総事業費7億7千万円。市費として3億1千万円を負担しています。稼働状況は、平成21年度実績で、原料たい肥搬入量(3,869トン)で、計画比52%、製品たい肥量(782トン)で、計画比40%となっています。経費は、指定管理料精算後で2千4百万円です。

原料たい肥が十分に搬入できていない状況であり、その確保を重点的に行うようにしています。

たい肥の成分に関しては、通常のたい肥と遜色ないと考えています。成分分析をしても通常のたい肥と同じであるとみております。しかし、もみ殻を水分調整材として利用していることなどから、もみ殻が多い、乾燥している散布の時に風に飛ばされるなどして、品質が良くないといわれているようでもあります。農業の館から直接購入している利用者から品質に関しての苦情はないと聞いています。いずれにしてもまず原料たい肥の確保を優先にして、良質なたい肥生産に努力をしてまいります。【回答：農政課】

## 意見・質問・要望等

①農地水資源、4年やったわけですが議員から見てあの事業はどうですか。いい事業だと思うか。

②角田市でも経費の1/4を出している。だけでも確かに活動して良い面もあるのだけれども、聞くところによるとこの事業も先ぼそりになるのではないか、という話も聞こえてくる。そうなった場合にやっと芽生えたものが、交付金が予算化されないと。さあどうなんだろう、昔みたいになれるのだろうか。農業人口が年々減ってます。耕作する戸数も減ってます。そこで地域を守ろうというとき、昔は田んぼ作っているから出たのかもしれないが、非農家が流す下水もかなり農業排水を使っているわけです。あの事業が良いというならば議員さんが良いというならば続けられる方法を検討すべきだろうと思います。

実は枝野7区で農地水の方をやっている。60世帯あって農家が6つしかない。非農家が50ちょっと、圧倒的に多い。農地水をやって最初は苦労した。皆に集まってもらっていろいろな形で老人会やら、PTAやら、ご婦人方やらにお願いして最近ほとんど出てきてくれるようになった。何かやろうとすると、その代わり年間スケジュールをきちっと出す。この時は出て下さいとか。草むしりしますとか。草刈しますとか。土砂払いしますとか。ほんとに人が出てくれるようになった。非農家の人も。そういう意味で保全すると環境をその地区地区が保全すれば全部が保全できることになる。あの制度は是非議会としても継続して、ずっとさらに充実させて地域を守るというのに訴えて欲しい。これはいい制度だと思う。(他の人の発言:75%他からくるのだから。25さえ出す)お金の問題もあるけれど非農家の人が何かのそういう事業に応援してくれる。子供達も入ってくれる。非常に大事なことから是非、存続を要望してくれ言いたい。【枝野地区】

## 当日の回答

①私の所も、青年会、壮年会が主体的にやっております。年2回、排水を上げたり、草刈をしたりして、本来であれば昔は、あいう仕事は有志でやっていた。地区を上げて行っていた。高度成長で皆勤めが忙しくなりました。側溝や堀は詰まったりした。非常にそういう意味では環境を保全する意味では効果があると思っています。私も参加したが側溝の柵が埋まっています、かなり時間も掛かり大変でした。もう一度原点に戻っていかないと。地域は地域で、地元は地元で守ることも考えていかないと大変になると思います。国では800～900兆円の赤字で国民一人当たり900万円位になってます。これは年々増えてきています。財政は持たないと思います。もう一度原点に戻っていかないと。将来、子や孫につけをまわしてしまうのはまずいと思います。出来るだけそういう皆さんの声を大事にしなが、角田市議会として国・県の方に申し上げたいと思います。JAみやぎ仙南についても角田市議会として統一行動をしていきたいと思っております。

②是非存続して欲しいということで、部落全体でも共同作業をしながら汗をかいて、街づくり、地域づくりに貢献しているということでありますので、我々も十分にその意をくんで、上部団体とも話を進めて行き

## 今後の取組み

農地・水・環境保全向上対策の共同活動部分は、現行制度では、平成23年度まで継続する予定です。平成24年度以降については、未定であります。平成23年度から新たな事業が追加される予定ですが、内容について具体的なものは、いまだに明らかにされていません。【回答:農政課】

No. 5

## 意見・質問・要望等

①北是入ため池の堤防が崩れ、補修をお願いしたところですが、補正予算で20万円で行うとのこと。ため池の下に民家もあり大変危険です。この前の雨でも亀裂が入り、早急な補修が必要です。すぐに補修はできないのでしょうか。また、暫定的でなく本格的な補修は出来ないのでしょうか。

②防火用水にもなっているのでよろしくお願いします。【藤尾地区】

## 当日の回答

①管理は市だと思いますが、持ち帰り農政課に確認します。

②住民の生命と財産を守るための多目的に利用されています。県が7か年計画で隈東地区の8か所を約7億円かけて整備事業が予定されていますが、北是入ため池は入ってません。

## 今後の取組み

平成22年度に緊急的に一部補修しました。平成23年度で補修(法尻にフトン籠工、法崩れ部に板柵工)を予算要求しています。【回答:農政課】

ため池の水は、本来農業用水として使用するために貯留されているものですが、近隣で火災が発生した場合に近隣市民の方々の生命と財産を守るために、ため池に溜められた水を消火活動に使用しているもので、ため池の管理については担当している農政課に委ねております。【回答:防災安全課】

No. 6

## 意見・質問・要望等

企業が農家へ働きかけ、農地価格や土地改良区の経費など調査されているようだが、議員は知っていますか。【藤尾地区】

## 当日の回答

議会には何も報告はされていないので、話し合いをしていません。政府の方向性としては、企業参入のため農地法の改正などを検討しているようです。

## 今後の取組み

内容がわからないで、回答できません。【回答:農政課】

No. 7

## 意見・質問・要望等

赤生ため池が土砂で埋まっている。3千㎡とのことで、3反歩の土地を確保したらそこに土砂を運ぶとの話を頂き、場所は用意しているが、どうなっているのでしょうか。【小田地区】

## 当日の回答

常任委員会でも視察し、浚渫をお願いしてきたが、そういうことであれば、なお、強く当局に依頼します。(仮称)仙南クリーンセンター建設用地で埋め立てをしなければいけないが、赤生ため池の土砂を利用させるのはどうか。

## 今後の取組み

平成22年度補正予算で、少量でも土砂浚渫を実施したいと考え、土砂捨て場を地元をお願いした経過があります。しかし、小田川が一級河川区域であるため、県との協議や河川法手続きが必要であり、実施に時間がかかることになりました。このため、地元区長に対して平成22年12月にその旨の説明をいたしました。平成22年度では、土砂浚渫のための測量業務を実施しております。【回答:農政課】

No. 8

**意見・質問・要望等**

手代木沼に観光地という名前を付けているが、農業用水なので、水調整は梁瀬の方をお願いしている。西根3区の区長は、手代木沼運営委員になっているが、ため池であるため、地元は動けない。3町歩の用水として使われているが、そこを減反して、手代木沼を観光地としたらどうか。県のお金をかけて、あの様にしたが、西根3区の人、何かしたくても何もできない。多目的広場に芝桜は植えたが、ほとり市を持ってきたらと話したが、目的が違うと言われてしまった。ハスは10年くらいしたら咲くということであるが、白鳥の餌付けの方法を考えて、農業用水は撤廃して観光地にして欲しい。【西根地区】

**当日の回答**

地元からの声として承ります。交流人口を、現在の60万人から100万人にしたいと思っているということですので、その方向も良いかもしれません。

**今後の取組み**

手代木沼は、農業用ため池、ハスの名所、白鳥の飛来地と多面的な要素を持っています。今後とも引き続きそれぞれの役割を果たしつつ農業と観光の両面を保持していきます。【回答：商工観光課】

手代木沼は、県営事業の地域用水環境整備事業手代木沼地区として、整備を行い、平成21年度に事業を完了しています。(農業用施設の整備と一体的に親水空間の創出を図り、人々の憩いの場となるように整備をした。)農業用水の撤廃に関しては、補助金の適正化に関する法律の関係で難しいものと考えます。【回答：農政課】

No. 9

**意見・質問・要望等**

OHバンドスで斗蔵山が紹介されたら、次の日30台位の車が来た。でも標識が不備で苦情が多かった。「野鳥の森」などの看板は上の裏の方にあり、誰も見ない。再整備が必要だ。交流人口を増やそうというのなら、細かい所からやってほしい。【小田地区】

**当日の回答**

交流人口を増やそうというのは角田市の方針でもあるので、看板設置については、地元の人言う事にも耳を傾け、後で悔いを残さないようなものを作ってもらえるよう、当局に話しておきます。

**今後の取組み**

斗蔵山を訪れる方を安全に、分かりやすく案内できるよう、案内看板の設置について、地区の関係者の方々と協議しながら検討します。【回答：商工観光課】

No. 10

**意見・質問・要望等**

①高規格道路が開通し信号もついて大変良くなったが、今までの県道が市道に格下げとなると聞きましたが、除草作業などの維持管理はどうなるのか。

②市道になった場合、草刈りなどは市でやるのか。行政区にお願いするのか。距離が長いので…。【藤尾地区】

**当日の回答**

①県道が市道に変更になった場合は、市の管理になります。

②基本的には市の管理となりますが、当局に確認します。

**今後の取組み**

①県道半田山下線は、角田市の市道と山元町の町道に移管される予定です。除草作業等については市が引き継ぐこととなります。

②地元でご協力いただけるのであれば地域づくり交付金等で対応したいと思います。なお、交通量等を勘案し難しいのであれば業者に委託することとなります。【回答：土木建築課】

No. 11

## 意見・質問・要望等

①各地区毎に議員がいるわけですが、土木建築へ申請に行った場合、議員ではだめだということ。区長を通さないでだめだと言う話もある。その辺どのようになっているのか。色々住民からこういうことをしてもらいたいという訳で、それで議員に区長としてお願いした。そうすると議員ではなく地区の区長が役所に行って通さないでだめだという話でした。その辺がいくら申し込んでも返答がなかなか1年がかりでもその結果の返答が無い。

②枝野自治センター西側の道路についても再三、役所に行ってお願いをしてきている。その道路は農道になっている。最近この農道沿いに住宅が建ってきた。その住民の方から農道の舗装を提案され区長さんお願いします。と要望されお願いされた。市道ならすぐに舗装できるが農道になっているものは難しいと言われた。どうか議員にお願いしたい。住宅が建ってくれば砂利道では住民の方は大変だということです。【枝野地区】

## 当日の回答

①各地区でいろいろ問題・要望・陳情が多々あると思います。その基本は地元の区長が提案するということが基本となっているかと思えます。区長は枝野地区であれば枝野の振興協議会で策定するいろいろな要望優先度という中を見据えながら行っていく。大掛かりなものになると思うんですが。あとはちょっとした安全対策や整備等については基本的に地元の区長が市と交渉するだろうと。しかし区長が行ってもなかなか拉致があかない場合は是非、議員の方にも声を掛けて下さい。地元の区民から言われてもどうしても進まず区長が困った時、問題を打開するため、議員に声をかけて下さい。進捗状況等を確認のためにでも使っていただければと思います。それでも進まない場合は議場で一般質問なり又は、政策提言や議員発議というようにして行きたいと考えております。

②枝野地区の区長会長が出席されておりますので区長会長に伺います。最近、枝野地区の振興協議会で整備計画を出されたと思いますが、この場所の提案と優先順位は、いかがだったのでしょうか。

(参加者からの答弁)枝野地区から道路関係で過去に請願・要望が数件あった。市からも資料全部取り寄せて全部洗い出して優先度をつけて先般出しました。この道路も入っています。一番最初にやってくれとお願いしました。区長会で協議し、公平な目で枝野地区として大事なものを提出しました。議員を通す必要がなくなりました。振興協議会として提出しましたので後は結果待ちです。

## 今後の取組み

①具体的にどのようなものかわかりませんが、内容によっては、行政区内において調整して頂かないと問題を生じる恐れがある場合は、行政区長さんにとりまとめをお願いしております。【回答:土木建築課】

②枝野地区振興協議会からの整備計画では、優先順位第3位となっています。早急に整備が必要であれば、振興協議会等と調整の必要があります。【回答:農政課】

No. 12

## 意見・質問・要望等

昭和63年に区画完了しているが、未舗装区間が2ヶ所あるのでぜひ舗装をお願いしたい。(鉦建～フレスコ、ダイソー～)【角田地区】

## 当日の回答

当局に確認します。

## 今後の取組み

市道扇町3号線(1225号)の西側の区間につきましては、平成22年度に側溝整備並びに道路の改良及び舗装を実施します。東側区間につきましては、隣接地の宅地化が図られた時に整備していきます。【回答:土木建築課】

## No. 13

**意見・質問・要望等** 国道349号の柴田町分は歩道整備されているのですが…。【東根地区】

**当日の回答** 東根地区振興協議会でもやっているが、議会としても柴田町まで歩道を繋げるように当局と検討していきます。

**今後の取組み** アイリスオーヤマ以南までは歩道整備が実施され、アイリスオーヤマ以北の400mについても県の土木行政推進計画の後期に歩道整備が位置付けられておりますが、早期着工並びに延伸を今後とも国道349号建設促進期成同盟会等を通して要望しております。【回答:土木建築課】

## No. 14

**意見・質問・要望等** 角田山元トンネルが出来て、車両通行量は以前よりどのくらい増えたのか。【桜地区】

**当日の回答** 開通間もないので、交通量を把握しておりません。新たな交流の拠点づくりを計画しているので、施設規模の算定などを行う上からも交通量調査を実施する必要があります。(まちづくり懇談会での産建部長回答を引用)

**今後の取組み** 県に確認しましたところでは、県道角田山下線の平成22年11月9日時点での交通量は1日当たり3,358台で、平成17年交通量調査をした県道半田山下線の2,510台より増加しております。中央公園を利用される方も増え、交流人口の増につながっているようです。【回答:土木建築課】

## No. 15

**意見・質問・要望等** 角田山元トンネルが出来たが、どう利用するのか。ただの通過点にしてはいけない。留める工夫が必要である。東西の玄関は出来たが、角田の玄関は北である。その道路が入りづらい、看板も見づらい。丸森町は分かりやすい目立つ看板を立てているが、角田もその様にしたら良いのではないか。【東根地区】

**当日の回答** 昔から北へ通じる道路のことは言われてきましたし、国・県へ陳情もしてきました。最近、歩道の整備が進んでいますが、対応は遅いと感じます。今後も議会から要請していきます。看板については、その通りなので、長期総合計画に組み入れる様、議会からも当局へ伝えます。

**今後の取組み** 県道角田山下線は、常磐自動車道からのアクセス道路の役割を担い東からの重要路線となりました。市街地までや施設や観光地までの案内がまだ不十分ですので、今後、サイン計画を策定し、わかりやすい案内板の設置等を進めていきます。【回答:土木建築課】

角田山元トンネルの開通により当市を訪れる方々を観光地に誘引する観光案内看板を設置しました。なお、角田市に留まっていた方策として現在、策定中の第5次長期総合計画において総合体育館周辺に「賑わいの交流拠点施設」の整備を計画しております。【回答:商工観光課】

## No. 16

**意見・質問・要望等** 最近、地震が頻繁におきている、通学路のブロックこのままでよいのか、点検はやっているのか。【角田地区】

**当日の回答** 当局に確認します。

**今後の取組み** 平成14年度にスクールゾーン内のブロック塀等の点検を、県と市の職員立会いで行いました。そのうち改修等必要なD判定と除却必要なE判定は所有者の方にお知らせしております。  
平成15年には、角田市スクールゾーン内危険ブロック塀等除去事業補助金交付要綱を制定し、学童その他の通行人の安全確保に努めてまいりました。平成15年度は7件、平成16年度は7件、平成17年度は12件の除去等が行われました。平成18年度には9件の訪問を行い除去等について説明し、その後危険箇所は改善され、除去が必要な箇所といたしましては1件残っております。県の補助事業は廃止となりましたが、申請があれば対応していきます。【回答：土木建築課】

## No. 17

**意見・質問・要望等** 阿武隈急行の線路脇、東船岡～妙立寺間の町道・市道(歩道)整備要望に対し、簡単に却下するだけではなく、今後も解決に向けた話し合いに議会の協力をお願いしたい。(要望)【北郷地区】

**当日の回答** お話は分かりました。なお、当局にも確認してみます。

**今後の取組み** 現在、検討中です。

## No. 18

**意見・質問・要望等** 必ずしも業者の手を煩わさないで、地元住民で出来る工事は地元でやってもらってはどうか。【北郷地区】

**当日の回答** 同様の質問が前回ありましたのでそれに対する当局の回答を読み上げます。「地元で施工してもらうことは可能であり、原材料費及び重機借上料を市で負担します。ただし原材料費等の支給については、予算の関係上、事前に相談してください。作業に伴う労働保険等は地元負担でお願いします。」

**今後の取組み** 協働のまちづくりの一環で、ぜひ地元でもできるものは地元の協力をお願いしたいと考えております。しかしながら、専門的な技術が必要なもの、危険を伴うものについては業者等をお願いすべきと考えます。【回答：土木建築課】

## No. 19

**意見・質問・要望等** 2～3日前に地元防犯協会のパトロールの方から防犯灯の異状点滅を指摘されたので、市役所に連絡したら早速交換していただきました。すばやい対応に感謝いたします。【北郷地区】

**当日の回答** 当局に伝えます。

**今後の取組み** 今後も街路灯(防犯灯)の適切な維持管理に努めていきます。【回答：土木建築課】

## No. 20

**意見・質問・要望等**

街中の水路は、夏場は農業用水が流れているが、秋から春にかけて揚水されないため生活雑排水などの溜まり水がドブ化して蚊が発生し悪臭がひどい。防火用水のためにも通年、堀に水を流すべきではないか。【角田地区】

**当日の回答**

一度ヘドロ払いをする必要があります。揚水期間以外でも水を流せるのか、当局担当課に伝えます。

**今後の取組み**

市では角田土地改良区と委託契約を結び、非かんがいの10月1日から翌年3月31日までの期間、坪石取水口から取水し、市街地に遊水しておりますが、なかなか大量の遊水は難しい状況であります。【回答:土木建築課】

平成10年2月4日付けで、「坪石取水口からの非かんがい期取水時の維持管理に関する協定書」を角田土地改良区と締結し、市街化の側溝及び軒下水路に清水を流すことにより、生活に潤いを与え、衛生及び環境美化を図っているところです。下水道課としても、環境が良くなるように未接続者に対し早急に水洗化するように、働きかけていきます。【回答:下水道課】

市街地を流れる水路は、雨水の排水路として整備された施設ですが、農業用水路としても利用しており、丸森町の館矢間地内で阿武隈川より取水しております。毎年4月から8月までは農業用水として、9月から翌年3月までは自然流下により市街地に通水しておりますが、11月から翌年3月までの渇水期は阿武隈川の水量が減少し、水位が低下すると自然流下による通水が困難となります。

防火用水については、消火栓を消防庁が定めている設置基準に基づき設置しており、一般的な火災には対応可能と思っております。しかし、不測の状況に備えるため、市街地の水路をせき止め防火用水を貯留している状況です。【回答:防災安全課】

## No. 21

**意見・質問・要望等**

毛萱トンネルの先の橋が完成するのは、いつ頃になるのか。【角田地区】

**当日の回答**

平成24年春の予定です。仙南東部道路という農道で角田市部分については20%負担しています。

**今後の取組み**

白石川に架かる金ヶ瀬大橋のことと存じます。県営事業の広域農道仙南東部2期地区であります。橋の完成は、平成25年3月で平成25年度開通の予定です。以前に平成24年10月との話がありましたが、これは橋梁の完成予定の情報であります。負担割合は、国50%・県36%・市町14%であり、うち市町負担割合は、角田市13.11%・大河原町55.83%・村田町31.06%であります。【回答:農政課】

No. 22

**意見・質問・要望等**

いま角田市では、都市計画税をとっているが歴然とした目的をはっきりした方がよい。都市計画税を何に使っているかはっきりした名目で徴収してほしい。加藤会館さんのところの堀が大雨になると溢れる。いまだに汲み取りのところがあるので困る。加藤会館前の堀に高砂やホープの方から勢いよく流れてくるから困る。現地調査はしているのか。通行止めになる位の被害が出ている。【角田地区】

**当日の回答**

長期総合計画のなかでそれらのことを吸い上げ序列をつけて審議していきたい。

**今後の取組み**

都市計画税は目的税でありますので、都市計画施設の整備若しくは償還金に充当されています。【回答:土木建築課】

都市計画税は都市計画事業費(過去の都市計画事業の元利償還金も含む)や土地区画整理事業費に充てるものです。平成21年度決算の充当先ですが、過去に実施した都市計画事業、土地区画整理事業の元利償還金に充当しています。

加藤会館前の水路は南町を上流端とし田町、栄町等を経由し、周辺排水を集水し豊町北端で尾袋川に注ぐ雨水幹線管渠です。この水路は都市下水路として整備を行いましたが、近年の降雨に対し十分でない箇所が現れたため、平成8年度より公共下水道の雨水幹線管渠として位置づけ、本水路の排水機能を高めるため下流部において新たな管渠の整備を行うとともに流域の分散を行いました。また、平成21年度において質問箇所の上流に位置する田町地区約1.8haの排水路の整備を行い本水路への負荷の軽減を図っているところですが、降雨の状況によっては、十分でないケースもありますので、今後も本水路へ注ぐ枝線を含め注視してまいります。【回答:下水道課】

No. 23

**意見・質問・要望等**

昨年度のような市道の除雪方法(凸凹圧雪)なら、やらないほうがよい。せめて幹線道路はきちっと除雪してほしい。大雪のときは2回除雪してほしい。委託業者への除雪費用が少ないからでは。【角田地区】

**当日の回答**

7センチ積雪すると除雪が始まります。市内の専用除雪車両が少なく、今年の春のベタ雪は特に大雪だったので除雪作業が遅れ気味でした。

**今後の取組み**

平成22年3月の大雪については春先の重く湿った雪だったため、圧雪となり、作業がはかどらなかったようです。なお、除雪費用については、足りなければ補正や予備費等で対応することになっておりますが、やはり、ご協力いただける業者数や除雪重機台数が減っていることが除雪作業に時間がかかる要因となっております。【回答:土木建築課】

No. 24

**意見・質問・要望等**

町尻区画組合の解散に向けて、市の指導を受けてやっているが、うまく進んでいない。賦課金未納者に対する角田市からの差し押さえ準備が進んでいる。決まったことが技術指導員から覆されてしまう。これでは指導ではない。議員からの支援行動が無い。力を貸してほしい。【角田地区】

**当日の回答**

組合の22年度予算の中に、賦課金徴収は済んでいることになっていますが。

**今後の取組み**

町尻土地区画整理組合の運営については組合の理事が中心となって運営しております。市は技術指導を行い、できるだけ早い組合解散に向けご協力をしております。【回答:土木建築課】

**意見・質問・要望等**

①藤尾地区に工場誘致をお願いしたのですが、どうなっていますか。議会での動きはあるのですか。

②当局ばかりでなく、議会も誘致に向けて活動して頂きたい。【藤尾地区】

**当日の回答**

①議会としての動きはありませんが、工場誘致は必要であり、当局は東京、名古屋での企業立地セミナーなどで、角田市の優位性のPRと企業誘致を図っています。工場誘致予定地は、今、長期総合計画委員会の中で検討しています。角田山元トンネル、毛萱トンネル付近のようです。

②議会も誘致政策を議論し、提言していきます。

**今後の取組み**

県主催による東京・名古屋での企業立地セミナーにおいて積極的に企業誘致を働きかけています。なお、工業振興候補地ゾーンとして、近い将来、高速道路の整備により常磐自動車道と東北自動車道の両方へのアクセスが可能となる箇所を選定しています。好立地であることをさらにPRしながら企業誘致に取り組んで参ります。【回答：商工観光課】

## 意見・質問・要望等

①この地区に下水道整備計画はあるのか。

②合併処理浄化槽の補助の申し込みに行ったら、今年の枠は終わりですと言われた。6～7人用で費用がかかるので、助成してくれないのか。亘理町ではしているようだ。検査業者について、水がきれいにならないのは、薬を飲んでいるからではないかと言われた。【東根地区】

## 当日の回答

①下水道整備計画はありません。下水道整備計画のない地域については、積極的に浄化槽設置整備補助金を活用していただきたいと思います。

②補助枠の拡大、亘理町の助成制度、水質検査については確認します。  
浄化槽設置補助金は、年40か所、総額781万円です。

## 今後の取組み

①下水道整備計画はありません。

②浄化槽設置整備補助金について

(1)補助枠

浄化槽補助金について、予算枠を理由に断られたとのことですが、角田市の一般住宅用の合併処理浄化槽設置費用に対する補助制度は、平成4年度から実施しています。申し込みの時期によりますが、近年で予算枠がいっぱいになったのは、平成17年度及び18年度で、平成19年度以降は予算枠内の申請となっています。

今年度も予算枠に余裕がありますので、年度内に完成することが条件となりますが、今年度の補助制度利用は可能な状態です。ただし、年度をまたいでの補助は制度上、出来ませんので、年度内の完成が困難である場合は、4月以降の補助手続と工事着手を検討してください。

設置済みの場合や、工事に着手している場合は制度上、補助対象外となりますのでご了解ください。

(2)他市町の補助制度

個人が住宅に設置する合併処理浄化槽設置費用に対する補助金は、国の交付金制度に基づくもので、全国的に実施されています。

宮城県内で個人が設置する合併浄化槽に補助を実施している市町村は23市町であり、亘理町でも補助を行っています。

(3)水質検査

検査業者に、水質検査の際に水がきれいにならないのは薬を飲んでいるからではないかと言われた。とのことですが、放流水質を悪化させる原因としては、浄化槽への流入水質や水量、浄化槽本体や機器類等の故障、保守点検や清掃が適正でないことが考えられます。薬と放流水質の関係については、糖尿病、抗生物質等が浄化槽の機能低下に関係すると言われています。薬の影響は流入水量の多い合併処理浄化槽(生活排水とし尿の処理)より、単独浄化槽(し尿のみ処理)が大きいと言われています。

年に1回実施しなければならない、浄化槽法定検査の水質検査結果が、「適正」、あるいは「おおむね適正」の場合は問題がないとお考えください。「不適正」の場合は改善対策が必要となります。【回答:下水道課】

No. 27

<b>意見・質問・要望等</b>	78%は七ヶ宿の水を使用しているようだが、七ヶ宿の水を少なくして、角田の水資源である小田浄水場を活用してはどうか。【小田地区】
<b>当日の回答</b>	現状では七ヶ宿ダムの水は仙南仙塩で割り当てられ、七ヶ宿の水の購入量が決まっています。小田、枝野は万が一の災害対応として役に立つが、最終的には廃止の方向の様です。
<b>今後の取組み</b>	要旨的には当日の回答のとおりと考えます。今後、総合的に当該方向性を検討していくことになると思料されます。【回答：水道事業所】